

令和 6 年度志木市一般会計・特別会計決算の概要

■ 一般会計

＜決算規模＞

- ・歳入総額 302 億 1, 055 万円【前年度：296 億 4, 949 万円（1. 9%増）】
- ・歳出総額 282 億 7, 372 万円【前年度：278 億 7, 001 万円（1. 4%増）】

＜収支状況＞

- ・歳入歳出差引額 19 億 3, 683 万円【前年度：17 億 7, 948 万円】
- ・実質単年度収支額 3 億 4, 820 万円【前年度：△1 億 7, 214 万円】

一 般 会 計 決 算 の 特 徴

- 歳入は、国の定額減税の影響もあり市税が減収となったものの、減収への対応として補填措置された地方特例交付金や地方交付税などが増となったことなどにより、前年度比 5 億 6, 106 万円の増となっています。
- 歳出は、市民会館及び市民体育館再整備実施設計委託料や基金積立金の減などにより、総務費が減となったものの、定額減税補足給付金の増などにより、民生費が増となったほか、小・中学校学校給食費無償化補助金の増などにより、教育費が増となったことなどにより、前年度比 4 億 371 万円の増となっています。
- 実質単年度収支（財政調整基金の増減を控除した、当該年度の実質的な収支を把握する指標）は、前年度比で約 5 億 2 千万円増加し、約 3 億 5 千万円のプラス収支となりました。なお、財政調整基金残高は、前年度から 1 億 3, 376 万円増の 30 億 4, 328 万円となっております。
- 財政構造の弾力性を表す経常収支比率は 94. 1%で、前年度（94. 9%）より 0. 8 ポイントの減となりました。
- 地方自治体の財政状況の健全度を示す健全化判断比率は、全ての指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率）において基準値を大きく下回っており、本市の財政状況が健全であることを示しています。
- 令和 6 年度末の市債残高は 223 億 7, 771 万円で、前年度から 4 億 7, 300 万円の減となりました。なお、市民 1 人当たりの市債残高は 29 万円となっています。

※表示単位未満を四捨五入しています。

■ 特別会計

(単位：万円)

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	687,636	660,024	27,611
志木駅東口地下駐車場事業特別会計	6,725	5,472	1,253
介護保険特別会計	600,363	576,220	24,143
後期高齢者医療特別会計	129,906	129,479	427

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

■ 企業会計

(単位：万円、税抜)

	収 益	費 用	経常損益	特別損益	純損益
水道事業会計	133,781	128,821	4,940	20	4,960
下水道事業会計	183,166	171,436	11,731	0	11,731

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

記 者 発 表 資 料 令和7年9月3日 総務部財政課 財政グループ 担当者／吉田（主査） 電話番号／048-473-1115 志 木 市
--